

第1246号

株式会社 茨城木材相互市場

2023

那珂川 NEWS

10

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

10月記念市のお知らせ



☆良材を取り揃えて皆様のご来市をお待ちしております。

まだ間に合う！

リフォーム関係補助金

1.次世代省エネ建材の実証支援事業

既存住宅において、省エネ改修の促進が期待される工期短縮可能な高性能断熱材や、快適性向上にも資する蓄熱・調湿材等の次世代省エネ建材の効果の実証を支援するものです。

- ① 外張り断熱
- ② 内張り断熱
- ③ 窓断熱

上記3つの工事区分から選ぶことができます
＜公募期間＞

R5年9月4日(月)から11月30日(木)まで

2. 先進的窓リノベ事業

既存住宅における熱損失が大きい窓の断熱性能を高めることにより、エネルギー価格高騰への対応(冷暖房費負担の軽減)や、2030年度の家庭部門からのCO2排出量約7割削減(2013年度比)への貢献、2050年ストック平均でZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保への貢献を目的とします。

補助対象

高い断熱性能を持つ窓への改修に関する費用の1/2相当等を定額補助(上限200万円)(リフォーム事業者が申請し、住宅所有者等に全額還元)

- ①内窓設置
- ②外窓交換
- ③ガラス交換

公募期間 R5年3月31日から予算上限に達するまで(遅くともR5年12月31日まで)

詳細につきましては裏面をご確認願います。

11月記念市のお知らせ

11月14日(火)

年間最大!!の第46回「木材まつり」を開催
【優良木材コンクール】も同時開催致します!!

** 現金大抽選会 **

- ① 当日お買上げ製品1口につき
抽選券1枚進呈
- ② 前売り期間中のお買上げ製品1口につき
抽選券1枚進呈

- ★茨城県産材推進協議会よりご来場のお客様に粗品を進呈!
- ★建材謝恩コーナーにて特価セール品展示販売!

■わたしたちの使命(SDGs)

(茨城木材の社会的役割)



「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
一循環型地域環境の創造

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



令和5年8月新設住宅着工

	計	持家	貸家	給与住	分譲住
全国計	70,399	20,994	29,364	454	19,587
前期比	94.0%	90.3%	100.3%	84.2%	89.4%
茨城県	1,196	594	378	0	224
前期比	87.7%	87.6%	103.8%	24.4%	72.1%

県内市別の状況及びR4年度累計は弊社Facebookをご覧ください。

メッセージ

オール米材でシェア守れるか

中国木材の受注制限を受けて、輸入米松製品の引き合いが増加している。折しも第4・四半期の産地交渉とタイミングが重なり、最大手のウェスタンフォレストプロダクツ(WFP)の米松KD小角は早々に完売となった。現在進行中の交渉を含めて今後、産地からのオファーは当面、完売が続くと予想される。中国木材にとっては試練の日々の始まりだが、輸入米松、米ツガ製材の産地シッパーや輸入元、流通会社にとっては、激減した供給シェアを取り戻す契機となる。

米松製材主力の平角は国内挽き製材しか供給元がないが、小角や根太、筋違、タルキなどの羽柄材は国内挽き(丸太)と輸入製品(完製品)、原板再割製材(半製品)が補完し合うことで、供給の安定性を担保してきた。ウッドショック時には、欧州材の供給が滞るなか、オール米材でシェアを守った経緯がある。コンテナ不足が深刻化した当時、WFPはバルク船をチャーターして供給をつないだ。仕入れ元の多様化、適正水準の在庫がどれだけ重要かはすべての木材関係者が身に染みて思い知った教訓だが、ウッドショック後の需要収縮局面では、価格競争力で勝る国内挽き製材に需要が集中し、高値在庫が重荷となった輸入米松、米ツガ製材はひたすら供給の減少を強いられた。

輸入米材製材の入荷量は7月までの累計で米松が前年同期比39.6%減、米ツガが同33.1%減。米ツガは2年連続で減少し、2021年同期比38.4%減。日本向けの米ツガ製材で歴史と伝統を誇ったWFPのAPD工場は工場を回すだけの受注を集められず、昨年10月から製材を停止している。

思い入れと郷愁だけで商売はできないが、節度と信頼関係がなければ商売は継続できず、いざという時の備えがなければビジネスチャンスはつかめない。産地は減った水準でしかオファーができず、70~90%の受注制限を掛けた中国木材の供給をどれだけ補完できるかは未知数だ。業界が一定量の仕入れと在庫を続けていれば代替需要をつかめたはずだが、仕入れも在庫もぎりぎりまで絞った現状はその分だけ機会損失となっている。今後の焦点は産地がどれだけ追加供給を増やせるかだが、輸入製品や原板再割製材で補完できなければ、最終的には欧州材や国産材で代替されることになる。

木材需要はウッドショック時の供給不足とその後の反動増で大きく緩和し、年明けは輸入木材の入荷が激減している。住宅市場が低迷するなか、何事もなければ縮小均衡で推移したはずの需要は、不測の事態が起こればたちまち供給不足になりかねない危うい均衡の上に立つ。中国木材の受注制限の影響は見通しにくい、改めて安定仕入れを考え直す契機としたい。(ギター)

日刊木材新聞 令和5年9月22日号「時評」より

トピックス

1. 次世代省エネ建材の実証支援事業では、住宅の改修方法を3つの区分から選ぶことができます。

①外張り断熱工法

外気に接する外壁を全て外張り断熱工法で改修すること

○補助率

補助対象経費の1/2以内

○補助金額の上限

1~4 市域 400万円/戸

5~8 市域 300万円/戸

○住宅区分

戸建住宅

②内張り断熱

室内側から断熱パネルや潜熱蓄熱建材等を用いて改修する方法

○補助率

補助対象経費の1/2以内

○補助金額の上限

戸建 200万円/戸

集合 125万円/戸

○補助金の下限

戸建・集合とも 20万円/戸

○住宅区分

建住宅・集合住宅

③窓断熱

全ての開口部を窓及び玄関ドアを用いて改修する方法

○補助率

補助対象経費の1/2以内

○補助金額の上限

150万円/戸

(窓・玄関ドアと任意製品を併用改修場合 200万/戸)

○補助金の下限

戸建・集合とも 20万円/戸

○住宅区分

戸建住宅

2. 先進的窓リノベ事業



補助額の例

例：戸建住宅・低層集合住宅

	グレード	大きさの区分		
		大 (2.8㎡~)	中 (1.6~2.8㎡)	小 (1.6㎡未満)
内窓設置	SS	124,000	84,000	53,000
	S	84,000	57,000	36,000
	A	69,000	47,000	30,000
外窓交換	SS	183,000	136,000	91,000
	S	124,000	92,000	62,000
	A	102,000	76,000	51,000

